



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	73,429	7.9	5,431	9.7	7,040	61.1	3,918	79.5
29年3月期第2四半期	68,051	△5.6	4,950	△40.5	4,370	△56.0	2,182	△64.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 8,169百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △5,282百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	80.12	—
29年3月期第2四半期	44.78	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	164,011	80,912	45.3	1,518.90
29年3月期	160,658	74,484	42.2	1,387.72

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 74,333百万円 29年3月期 67,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	6.0	12,600	13.3	14,450	18.8	10,500	44.0	214.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	49,757,821株	29年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	818,707株	29年3月期	889,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	48,902,600株	29年3月期2Q	48,734,015株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、東アジアにおいて地政学リスクがクローズアップされましたが主要国の経済はほぼ安定して推移しました。米国経済は安定軌道にあり、欧州でもドイツを始め主要国で景気回復が鮮明になってきました。中国では改革路線が継続する中、インフラ投資、民間消費の拡大で安定的な成長が続き、インド・東南アジアも緩やかに景気が持ち直しています。

一方、日本経済においては内需が伸び悩む状況が続きましたが、積極的な金融政策、財政政策により、輸出部門、建設部門の企業業績が改善し、緩やかながら国内の設備投資も増加、雇用環境も好転するなど徐々に実体経済に回復の兆しが見え始めました。

このような経済環境のもと当事業においては、自動車・建設機械業界向け事業は堅調を持続、一般産業機械業界向け事業は半導体向け製品やアフターマーケットの需要の回復、船用業界向け事業は修繕部品の需要増加により、売上、利益とも前年同期比増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は734億29百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は54億31百万円（前年同期比9.7%増）、経常利益は70億40百万円（前年同期比61.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億18百万円（前年同期比79.5%増）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

## [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品の販売が中国・東南アジア市場を含め引き続き堅調に推移するとともに、建設機械市場も好調であり、当セグメントの売上高は486億38百万円（前年同期比11.8%増）となりました。営業利益は32億97百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

## [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内半導体業界向け製品及びインド・東南アジアなど海外での販売が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は168億48百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は19億円（前年同期比50.8%増）となりました。

## [船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要に底打ちの兆しがみられるとともに、修繕需要も回復がみられたことから、当セグメントの売上高は54億60百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は2億86百万円（前年同期比334.6%増）となりました。

## [航空宇宙業界向け事業]

当事業は、前期に含めていた光工学業界向け事業の撤退に伴う販売減により、当セグメントの売上高は24億81百万円（前年同期比41.5%減）となりました。営業損失は46百万円（前年同期は営業利益1億56百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,640億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億52百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産が31億90百万円、投資有価証券が16億36百万円増加した一方、現金及び預金が20億27百万円減少したことによるものであります。

## [負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は830億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億74百万円減少いたしました。これは主として長期借入金が増加した一方、電子記録債務が53億74百万円減少したことによるものであります。

## [純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は809億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億27百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が26億90百万円、為替換算調整勘定が32億76百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、第3四半期に発生が見込まれる関係会社株式譲渡に伴う特別利益を反映した結果、平成29年8月1日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 146,200	百万円 11,900	百万円 14,200	百万円 8,200	円 銭 167.68
今回修正予想 (B)	149,000	12,600	14,450	10,500	214.63
増減額 (B-A)	2,800	700	250	2,300	-
増減率 (%)	1.9	5.9	1.8	28.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	140,594	11,120	12,163	7,290	149.46

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,663	20,636
受取手形及び売掛金	28,815	28,498
電子記録債権	3,725	4,383
商品及び製品	5,124	6,014
仕掛品	7,092	7,502
原材料及び貯蔵品	5,584	5,717
その他	8,107	7,530
貸倒引当金	△90	△77
流動資産合計	81,024	80,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,971	21,205
機械装置及び運搬具（純額）	20,010	22,142
その他（純額）	13,019	12,844
有形固定資産合計	53,002	56,193
無形固定資産		
のれん	3,622	3,397
その他	3,525	3,344
無形固定資産合計	7,148	6,742
投資その他の資産		
投資有価証券	13,613	15,249
その他	6,142	5,888
貸倒引当金	△272	△268
投資その他の資産合計	19,483	20,869
固定資産合計	79,633	83,805
資産合計	160,658	164,011

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,022	7,923
電子記録債務	8,912	3,538
短期借入金	13,279	14,137
未払法人税等	2,185	2,078
賞与引当金	2,345	3,061
その他の引当金	51	38
その他	12,244	10,749
流動負債合計	47,042	41,526
固定負債		
長期借入金	21,544	23,958
引当金	421	435
退職給付に係る負債	15,997	15,835
その他	1,167	1,342
固定負債合計	39,131	41,572
負債合計	86,173	83,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,395	11,395
利益剰余金	54,182	56,873
自己株式	△650	△511
株主資本合計	75,418	78,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451	544
為替換算調整勘定	△2,871	405
退職給付に係る調整累計額	△5,183	△4,865
その他の包括利益累計額合計	△7,603	△3,915
非支配株主持分	6,669	6,579
純資産合計	74,484	80,912
負債純資産合計	160,658	164,011

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	68,051	73,429
売上原価	51,402	55,543
売上総利益	16,648	17,885
販売費及び一般管理費	11,698	12,454
営業利益	4,950	5,431
営業外収益		
受取利息	162	138
受取配当金	17	11
持分法による投資利益	272	447
為替差益	—	721
その他	365	549
営業外収益合計	818	1,868
営業外費用		
支払利息	233	207
寄付金	5	1
為替差損	1,064	—
その他	94	51
営業外費用合計	1,398	260
経常利益	4,370	7,040
特別利益		
固定資産売却益	10	5
特別利益合計	10	5
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	28	29
債務保証損失引当金繰入額	—	8
特別損失合計	31	39
税金等調整前四半期純利益	4,348	7,006
法人税等	1,856	2,531
四半期純利益	2,492	4,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	310	556
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,182	3,918



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,492	4,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	92
為替換算調整勘定	△5,740	1,985
退職給付に係る調整額	312	375
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,308	1,241
その他の包括利益合計	△7,775	3,694
四半期包括利益	△5,282	8,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,081	7,606
非支配株主に係る四半期包括利益	△201	563

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	43,511	15,111	5,188	4,239	68,051	—	68,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	46	10	—	129	△129	—
計	43,584	15,158	5,199	4,239	68,180	△129	68,051
セグメント利益	3,474	1,260	65	156	4,957	△7	4,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	48,638	16,848	5,460	2,481	73,429	—	73,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	138	52	3	—	194	△194	—
計	48,777	16,900	5,464	2,481	73,624	△194	73,429
セグメント利益又は損失(△)	3,297	1,900	286	△46	5,438	△7	5,431

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間より光工学業界向け事業から撤退したことに伴い、報告セグメントの名称を「航空宇宙・光工学業界向け事業」から「航空宇宙業界向け事業」へ変更しております。なお、当該変更によるセグメント情報に与える影響はありません。